

<p>a. 名護岳 【撮影地点 2・カヌチャベイホテル&ヴィラズ】</p>	<p>b. 久志岳 【撮影地点 24・久志区農地】</p>
	
<p>(H19/8/21/10:44:06)</p>	<p>(H19/10/16/14:08:13)</p>
<p>c. 石岳 【撮影地点 26・潟原の干潟】</p>	<p>d. 一ツ岳 【撮影地点 27・ヒーピー海岸交流広場】</p>
	
<p>(H19/9/2/13:57:33)</p>	<p>(H19/8/22/10:27:10)</p>
<p>e. 辺野古岳 【撮影地点 24・久志区農地】</p>	<p>f. 平島 【撮影地点 21・辺野古の浜】</p>
	
<p>(H19/9/2/12:58:35)</p>	<p>(H19/8/22/12:52:39)</p>

図-6. 20. 1. 34 景観資源撮影結果 (1/3)

<p>g. 長島 【撮影地点 3・カヌチャビーチ】</p>	<p>h. 安部オール島 【撮影地点 2・カヌチャベイホテル&ヴィラズ】</p>
 <p>(H19/8/21/11:00:32)</p>	 <p>(H19/8/21/10:44:42)</p>
<p>i. 瀬嵩区のフクギ、モクマオウ、ホルトノキ 【撮影地点 7・瀬嵩区公民館】</p>	<p>j. 大浦御嶽のイタジイ林 【撮影地点 13・二見海岸】</p>
 <p>(H19/8/23/11:11:42)</p>	 <p>(H19/8/23/09:58:03)</p>
<p>k. 大浦のアサギ庭のガジマル 【撮影地点 9・大浦集落センター】</p>	<p>l. 大浦のマングローブ林 【撮影地点 11・大浦のマングローブ林】</p>
 <p>(H19/8/23/10:33:52)</p>	 <p>(H19/8/23/11:06:15)</p>

図-6. 20. 1. 35 景観資源撮影結果 (2/3)


<p>m. 久志公民館のガジマル 【撮影地点 23・久志区公民館】</p>	
 <p>(H19/8/22/11:31:47)</p>	

図-6. 20. 1. 36 景観資源撮影結果 (3/3)

c) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望景観の状況については、晴天時の昼間を基本として、必要に応じて朝・夕方・夜間の時間帯別及び降雨時に撮影を行いました。

陸域の調査地点については、時間帯別の撮影のうち、昼間は各季節ともに全調査地点（陸上部 22 地点、航空機内 10 地点）で撮影を実施し、夜間は夏季に全調査地点で実施しました。

朝及び夕方については、夏季及び秋季は全調査地点で撮影を行い、冬季及び春季は、陸上部（米軍施設外）において、朝日または夕日が望める（いずれかの季節の撮影写真に太陽が入り込む）地点で実施しました。降雨時については、夏季調査において主要眺望景観の状況調査の全調査地点（陸上部 22 地点、航空機内 10 地点）で写真撮影しました。

海上、海中の調査地点については各季節ともに昼間に撮影を実施しました。

これら主要な眺望点及び視点場からの撮影結果について、代表として夏季調査結果を図-6.20.1.37～図-6.20.1.46に示しました。

陸上からの撮影結果については図-6.20.1.37～図-6.20.1.40に、航空機からの撮影結果については図-6.20.1.41及び図-6.20.1.42に、海上からの撮影結果については図-6.20.1.43及び図-6.20.1.44に、海中からの撮影結果については図-6.20.1.45及び図-6.20.1.46に示しました。

1. 安部崎	2. カヌチャベイホテル&ヴィラズ
 <p data-bbox="531 692 767 725">(H19/9/2/10:36:55)</p>	 <p data-bbox="1137 692 1374 725">(H19/9/2/10:09:41)</p>
3. カヌチャビーチ	4. 嘉手苺橋
 <p data-bbox="531 1184 767 1218">(H19/9/2/10:21:44)</p>	 <p data-bbox="1137 1184 1374 1218">(H19/9/2/13:33:41)</p>
5. 汀間漁港	6. 瀬嵩の浜
 <p data-bbox="531 1677 767 1711">(H19/9/2/09:51:28)</p>	 <p data-bbox="1137 1677 1374 1711">(H19/8/23/11:01:27)</p>

図-6. 20. 1. 37 主要な眺望景観の状況 (陸上 1/4)

7. 役所前の浜	8. 大浦川河口
	
(H19/8/23/10:50:41)	(H19/8/23/10:27:50)
9. 楚久川河口	10. 二見海岸
	
(H19/8/23/10:08:24)	(H19/8/23/09:55:15)
11. 米軍施設内広場 1	12. 米軍施設内広場 2
	
(H19/8/28/10:12:36)	(H19/8/28/10:29:42)

図-6. 20. 1. 38 主要な眺望景観の状況 (陸上 2/4)

13. 米軍施設内サッカー場	14. 米軍施設内広場 3
	
(H19/8/28/11:12:52)	(H19/8/28/11:04:46)
15. 米軍施設内ビーチ	16. 辺野古前上原公園
	
(H19/8/28/11:35:06)	(H19/8/22/12:38:31)
17. 辺野古の浜	18. 加知味崎
	
(H19/8/22/12:51:47)	(H19/8/22/11:15:22)

図-6.20.1.39 主要な眺望景観の状況 (陸上 3/4)

19. 潟原の干潟	20. ヒーピー海岸交流広場
	
(H19/8/22/11:00:08)	(H19/8/22/10:26:31)
21. 松田農村公園	22. 国際交流センター
	
(H19/8/22/10:46:11)	(H19/8/22/10:11:51)

図-6.20.1.40 主要な眺望景観の状況 (陸上 4/4)







航空機 1	航空機 2
	
昼間 (H19/8/31/11:42:16~11:42:38)	昼間 (H19/8/31/11:44:22~11:44:41)
航空機 3	航空機 4
	
昼間 (H19/8/31/11:45:36~11:45:55)	昼間 (H19/8/31/11:51:06~11:51:26)
航空機 5	航空機 6
	
昼間 (H19/8/31/11:56:43~11:57:34)	昼間 (H19/8/31/11:59:55~12:00:18)

図-6. 20. 1. 41 主要な眺望景観の状況 (航空機 1/2)





航空機 7	航空機 8
	
昼間 (H19/8/31/12:05:25~12:05:44)	昼間 (H19/8/31/12:16:17~12:16:32)
航空機 9	航空機 10
	
昼間 (H19/8/31/12:18:01~12:18:10)	昼間 (H19/8/31/12:19:43~12:19:58)

図-6. 20. 1. 42 主要な眺望景観の状況 (航空機 2/2)







海上 1	海上 2
	
(H19/8/30/06:02:58~06:04:46)	(H19/8/30/06:12:23~06:14:25)
海上 3	海上 4
	
(H19/8/30/06:27:04~06:28:28)	(H19/8/30/06:40:27~06:42:50)
海上 5	海上 6
	
(H19/8/30/07:16:00~07:18:18)	(H19/8/30/07:40:50~07:42:44)

図-6. 20. 1. 43 主要な眺望景観の状況 (海上 1/2)





海上 7	海上 8
 <p data-bbox="405 759 767 790">(H19/8/30/07:48:53~07:51:22)</p>	 <p data-bbox="1011 759 1374 790">(H19/8/30/09:30:58~09:32:37)</p>
海上 9	海上 10
 <p data-bbox="405 1254 767 1285">(H19/8/30/09:42:51~09:44:49)</p>	 <p data-bbox="1011 1254 1374 1285">(H19/8/30/10:03:36~10:06:32)</p>

図-6. 20. 1. 44 主要な眺望景観の状況 (海上 2/2)




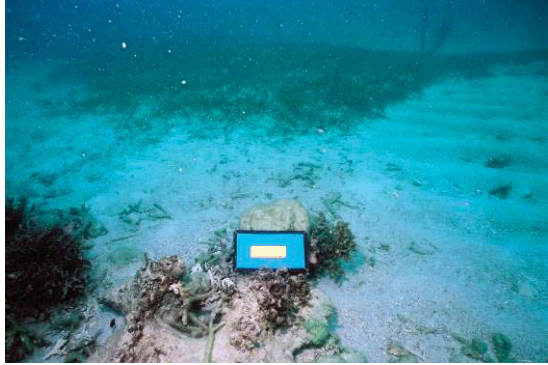
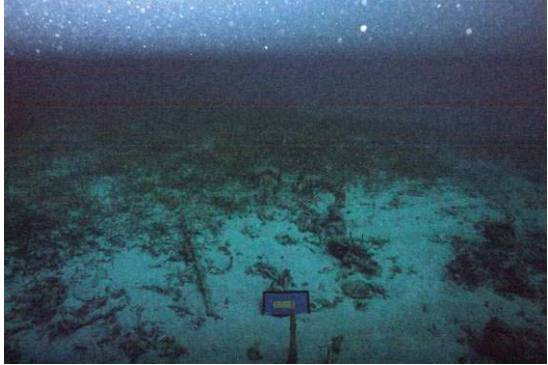

海中 1	海中 2
	
(H19/8/30/13:13~13:25)	(H19/8/30/11:28~11:46)
海中 3	海中 4
	
(H19/8/30/10:47~11:07)	(H19/8/30/10:03~10:21)
海中 5	海中 6
	
(H19/8/30/09:34~09:45)	(H19/10/29/12:15~12:27)

図-6. 20. 1. 45 主要な眺望景観の状況 (海中 1/2)





海中7	海中8
 <p data-bbox="480 703 767 734">(H19/8/31/09:02~09:17)</p>	 <p data-bbox="1086 703 1374 734">(H19/8/31/10:57~11:20)</p>
海中9	海中10
 <p data-bbox="480 1200 767 1232">(H19/8/31/10:15~10:37)</p>	 <p data-bbox="1086 1200 1374 1232">(H19/8/31/09:49~10:01)</p>

図-6. 20. 1. 46 主要な眺望景観の状況（海中 2/2）

d) 围绕景观の状況

(ア) 景观区の区分

調査地点選定に際し、調査地域における景观区分を行いました。

景观区分の手順を図-6.20.1.47に、その結果得られた景观区分を図-6.20.1.48に示しました。

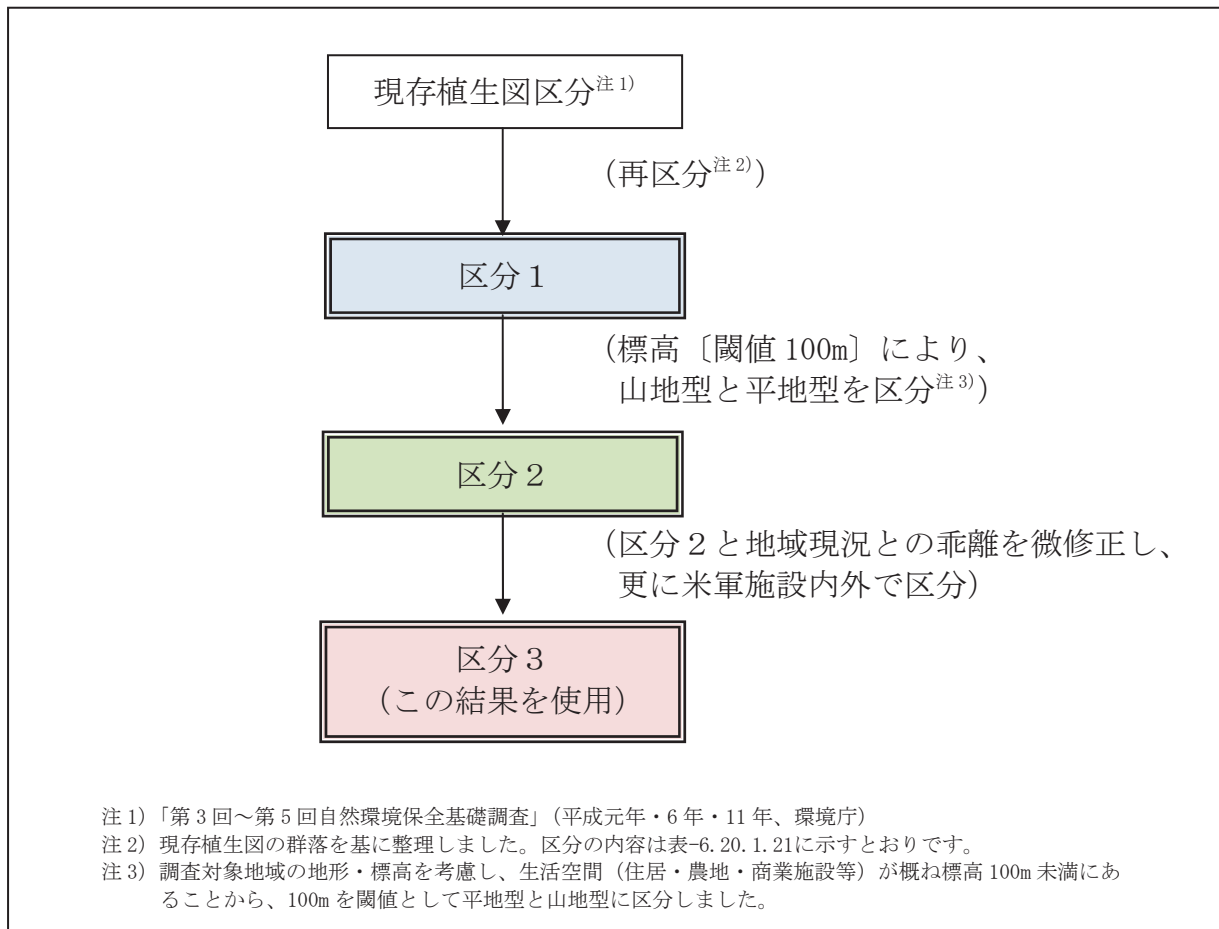


図-6.20.1.47 景观区分の手順

表-6.20.1.21 区分1における現存植生の再区分

区分1	現存植生図群落名
草地・湿地・干潟	アダン・オオハマボウ群落、グンバイヒルガオークロイワザサ群落、ススキ群落、ダンチク群落、チガヤ・ススキ群落、ヨシクラス、伐跡群落
樹林地	アカギ群落、アカテツ・ハマビワ群集、ナガミボチョウジ・クスノハカエデ群落、マングローブ群落、モクマオウ植林、リュウキュウアオキ・スダジイ群集、リュウキュウガキ・ナガミボチョウジ群落、リュウキュウマツ群落、外国産広葉樹植林、竹林
耕作地・牧草地等	休耕地雑草群落、常緑果樹園、水田雑草群落、畑地雑草群落、牧草地・ゴルフ場
開放水域	開放水域
砂浜等	自然裸地
集落・人工地等	市街地、造成地、造成地・採石場
島嶼	長島、平島、安部オール島全域(長島と平島の現存植生区分が無いため)

(イ) 景観区ごとの眺めの状況

現地踏査及び景観区分結果を勘案し、合計 30 地点において写真撮影を行いました。

調査地点一覧を表-6.20.1.22に、調査地点を図-6.20.1.48に、撮影結果を図-6.20.1.49～図-6.20.1.53に示しました。

表-6.20.1.22 調査地点一覧（主要な圍繞景観）

景観区分	No.	地点名
樹林地（山地）	B-1	二見区林道
樹林地（平地）	C-1	三原橋
	C-2	瀬嵩林道
	C-3	辺野古前上原公園
耕作地・牧草地等	D-1	安部区農地
	D-2	辺野古区農地
	D-3	久志区農地
	D-4	松田農村公園
島嶼	E-1	長島
草地・湿地・干潟	A-1	楚久川河口
	A-2	辺野古の浜
	A-3	潟原の干潟
開放水域	F-1	汀間地区会館、嘉手苅橋
	F-2	大浦のマングローブ林
砂浜等	G-1	カヌチャビーチ
	G-2	瀬嵩の浜
	G-3	二見海岸
	G-4	ヒーピィー海岸交流広場
集落・人工地等	H-1	安部地区会館
	H-2	三原地区会館
	H-3	汀間漁港
	H-4	瀬嵩区公民館
	H-5	大浦集落センター
	H-6	大川集落センター
	H-7	辺野古交流プラザ
	H-8	豊原地区会館
	H-9	久志区公民館
砂浜等（米軍施設内）	g-1	米軍施設内ビーチ
集落・人工地等 （米軍施設内）	h-1	辺野古崎
	h-2	米軍施設内広場2

注）太枠内は、米軍施設内の調査地点。それ以外は米軍施設外の調査地点。

<p>草地・湿地・干潟 A-1 楚久川河口</p>	<p>草地・湿地・干潟 A-2 辺野古の浜</p>
	
<p>草地・湿地・干潟 A-3 潟原の干潟</p>	<p>樹林地（山地） B-1 二見区林道</p>
	
<p>樹林地（平地） C-1 三原橋</p>	<p>樹林地（平地） C-2 瀬嵩林道</p>
	

図-6. 20. 1. 49 景観区分ごとの眺めの状況 (1/5)

樹林地（平地） C-3 辺野古前上原公園	耕作地・牧草地等 D-1 安部区農地
	
耕作地・牧草地等 D-2 辺野古区農地	耕作地・牧草地等 D-3 久志区農地
	
耕作地・牧草地等 D-4 松田農村公園	島嶼 E-1 長島
	

図-6.20.1.50 景観区分ごとの眺めの状況 (2/5)

開放水域 F-1 汀間地区会館、嘉手苺橋	開放水域 F-2 大浦のマングローブ林
	
砂浜等 G-1 カヌチャビーチ	砂浜等 G-2 瀬嵩の浜
	
砂浜等 G-3 二見海岸	砂浜等 G-4 ヒーピー海岸交流広場
	

図-6. 20. 1. 51 景観区分ごとの眺めの状況 (3/5)

<p>集落・人工地等 H-1 安部地区会館</p>	<p>集落・人工地等 H-2 三原地区会館</p>
	
<p>集落・人工地等 H-3 汀間漁港</p>	<p>集落・人工地等 H-4 瀬高区公民館</p>
	
<p>集落・人工地等 H-5 大浦集落センター</p>	<p>集落・人工地等 H-6 大川集落センター</p>
	

図-6.20.1.52 景観区分ごとの眺めの状況 (4/5)

<p>集落・人工地等 H-7 辺野古交流プラザ</p>	<p>集落・人工地等 H-8 豊原地区会館</p>
	
<p>集落・人工地等 H-9 久志区公民館</p>	<p>砂浜等 (米軍施設内) g-1 米軍施設内ビーチ</p>
	
<p>集落・人工地等 (米軍施設内) h-1 辺野古崎</p>	<p>集落・人工地等 (米軍施設内) h-2 米軍施設内広場2</p>
	

図-6.20.1.53 景観区分ごとの眺めの状況 (5/5)

2) 現地調査結果

(a) 主要な眺望点及び視点場の状況

陸上の眺望点及び視点場については表-6. 20. 1. 17示す既存調査結果において抽出した 22 の主要な眺望地点に平島を追加し合計 23 地点を選定しました。航空機内、海上、海中からの調査地点については既存調査と同一地点としました。

陸上の選定地点と主たる眺望対象を表-6. 20. 1. 23に、地点位置図を図-6. 20. 1. 54に示しました。



表-6. 20. 1. 23 主要な眺望点及び視点場（陸上）

No.	地 点 名	主たる眺望対象
1	安部崎	平島、長島
2	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	平島、長島、久志岳、辺野古岳
3	カヌチャビーチ	長島、久志岳
4	嘉手苺橋	長島
5	汀間漁港	長島
6	瀬嵩の浜	平島、長島
7	役所前の浜	平島、長島
8	大浦川河口	大浦川河口
9	楚久川河口	平島、長島
10	二見海岸	大浦御嶽のイタジイ林、長島
11	米軍施設内広場 1	平島
12	米軍施設内広場 2	平島、辺野古崎周辺海域
13	米軍施設内サッカー場	辺野古崎周辺海域
14	米軍施設内広場 3	辺野古崎周辺海域
15	米軍施設内ビーチ	長島、安部オール島
16	辺野古前上原公園	辺野古川河口、平島、長島
17	辺野古の浜	辺野古漁港周辺海域、平島、長島、安部オール島
18	加知味崎	平島
19	潟原の干潟	平島、長島
20	ヒーピー海岸交流広場	平島、長島、一ツ岳
21	松田農村公園	平島、長島、安部オール島
22	国際交流センター	平島、長島、安部オール島
23	平島	長島

(b) 景観資源の状況

表-6. 20. 1. 20及び図-6. 20. 1. 33に示す既存調査結果において抽出した 13 の景観資源について、現地踏査による確認を行い、さらに、それぞれの資源がもつ価値について整理を行いました。各景観資源ごとの整理結果を表-6. 20. 1. 24～表-6. 20. 1. 36に示しました。

表-6. 20. 1. 24 景観資源の状況 (名護岳)

資源調査地点		2、3、6、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 14.0%。 ^{注)}
	力量性※1	標高 345.2m
固有価値	固有性※2	調査範囲外に位置するが内陸方向への眺望のスカイラインに変化を与えている。
	歴史性※3	名護岳一帯は古くから信仰の対象とされている。
	郷土性※4	調査範囲外に位置するが、山麓の名護城跡公園は桜の名所 100 選（平成 2 年、財団法人日本さくらの会）に選ばれている。
	親近性※5	
		
<p>瀬嵩の浜から撮影 H20/7/29/11:32</p>		<p>長島から撮影 H20/8/31/08:49</p>

※1：高さ、見えの面積、奥行き感など

※2：特徴的な視覚的要素

※3：歴史を有する視覚的要素



※4：地域のシンボル・原風景としての視覚的要素

※5：地域に親しまれている視覚的要素。

以下、表-6. 20. 1. 25～表-6. 20. 1. 36まで同様。



注) 調査対象範囲（陸域）内において、視点高 1.5m で景観資源を眺望できるエリアが、調査対象範囲（陸域）全体に占める面積の比率。「数値地図 50m メッシュ（標高）」（国土地理院）を用いて、「ArcView3.2」（ESRI）にて可視エリアを算出した。以下同様。

表-6. 20. 1. 25 景観資源の状況（久志岳）

資源調査地点		2、3、5、15、16、18、24、26、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 49.0%。
	力量性※1	標高 335.1m
固有価値	固有性※2	調査範囲内では最高標高を誇り周囲のスカイラインから突出した頂部を有する。
	歴史性※3	昭和 32 年に軍用地として接収されており ^{注)} 、多くの地域住民にとって、久志岳は軍用地として認識されていると考えられる。
	郷土性※4	辺野古岳とともに周囲のスカイラインから突出した頂部が広範囲から視認される。
	親近性※5	辺野古岳とともに周囲のスカイラインから突出した頂部が広範囲から視認される。
 <p>カヌチャベイホテル&ヴィラズから撮影 H20/7/29/07:31</p>		 <p>カヌチャビーチから撮影 H20/7/29/12:20</p>

注)「沖縄大百科事典」(昭和 58 年 5 月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 26 景観資源の状況（石岳）

資源調査地点		15、24、26
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 7.2%。
	力量性※1	標高 236m
固有価値	固有性※2	調査範囲外に位置するが久志岳・辺野古岳と一体的なスカイラインを形成する。
	歴史性※3	名護市許田と宜野座村潟原を結ぶ県道 108 号線から石岳に通じる道路は通称「復興道路」とされている ^{注)} 。
	郷土性※4	復興道路」とされている ^{注)} 。
	親近性※5	調査範囲の南側（概ね久志岳以南）からは頂部が比較的広範囲から視認される。
 <p>米軍施設内広場 2 から撮影 H20/8/1/10:21</p>		 <p>潟原の干潟から撮影 H20/8/2/11:01</p>

注)「名護市の米軍施設」(平成 19 年、名護市米軍施設対策室)

表-6. 20. 1. 27 景観資源の状況（一ツ岳）




資源調査地点		27、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 19.0%。
	力量性※1	標高 295.4m
固有価値	固有性※2	調査範囲外に位置するが、内陸方向への眺望のスカイラインに変化を与えている。
	歴史性※3	一ツ岳を源流とする源河川では、1980年代に沖縄島では絶滅したリュウキュウアユ復活のための取組が継続して行われている。
	郷土性※4	
	親近性※5	稜線沿いに林道が整備されており、サイクリングコースとなっている。
 <p>長島から撮影 H20/8/31/08:49</p>		

表-6. 20. 1. 28 景観資源の状況（辺野古岳）

資源調査地点		2、3、5、14、15、16、18、24、26、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 49.7%。
	力量性※1	標高 332m
固有価値	固有性※2	調査範囲内では久志岳に次ぐ標高を誇り周囲のスカイラインから突出した頂部を有する。
	歴史性※3	昭和 31 年に軍用地として接収されており ^{注)} 、多くの地域住民にとって、辺野古岳は軍用地として認識されていると考えられる。
	郷土性※4	
	親近性※5	久志岳とともに周囲のスカイラインから突出した頂部が広範囲から視認される。
 <p>カヌチャベイホテル&ヴィラズから撮影 H20/7/29/07:31</p>		 <p>カヌチャビーチから撮影 H20/7/29/12:20</p>

注)「沖縄大百科事典」(昭和 58 年 5 月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 29 景観資源の状況（平島）



資源調査地点		1、2、6、8、12、14、15、17、18、20、21、22、25、26、27、28、29、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率34.6%。
	力量性※1	面積0.02km ²
固有価値	固有性※2	低く平たい形状を呈する。
	歴史性※3	隣接する長島、辺野古崎とともに広範囲の海岸から視認され、一帯の海の景観のシンボルとなっていると考えられる。
	郷土性※4	
	親近性※5	陸側に砂浜（ビーチ）がある。砂浜では海水浴・潮干狩り・バーベキュー等が行われている。
 <p>安部崎から撮影 H20/7/29/11:24</p>		 <p>カヌチャベイホテル&ヴィラズから撮影 H20/7/29/07:31</p>

表-6. 20. 1. 30 景観資源の状況（長島）


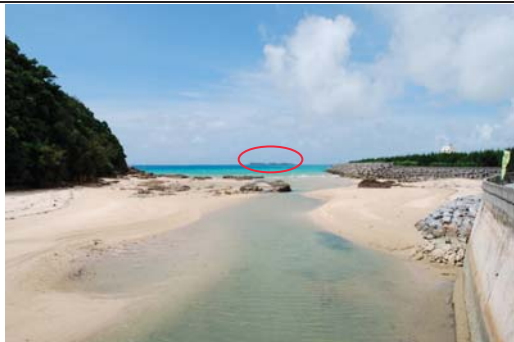

資源調査地点		1、2、3、4、5、6、8、12、13、15、18、19、20、21、22、26、27、28、29
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率31.4%。
	力量性※1	面積0.02km ²
固有価値	固有性※2	頂部が連続する特徴的な形状を有する。 島の東部に灯台がある。
	歴史性※3	隣接する平島、辺野古崎とともに広範囲の海岸から視認され、一帯の海の景観のシンボルとなっていると考えられる。
	郷土性※4	
	親近性※5	潮干狩り・バーベキュー等が行われている。
 <p>カヌチャビーチから撮影 H20/7/29/12:21</p>		 <p>汀間地区会館/嘉手苅橋から撮影 H20/7/29/10:27</p>

表-6. 20. 1. 31 景観資源の状況（安部オール島）

資源調査地点		2、13、18、19、27、28、29、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 25.4%。
	力量性※1	面積 0.07km ²
固有価値	固有性※2	琉球石灰岩で形成され周囲が切り立った形状を有する ^{注)} 。
	歴史性※3	古くは葬所であったと考えられており、島自体が神聖な場所と捉えられている。
	郷土性※4	また、戦後アメリカ人牧師がヤギの放牧を試み ^{注)} 、現在でも数頭がみられる。
	親近性※5	現在は主に釣り場として親しまれている。
 <p>カヌチャベイホテル&ヴィラズから撮影 H20/7/29/07:33</p>		 <p>辺野古崎から撮影 H20/8/1/12:00</p>


注)「沖縄大百科事典」(昭和 58 年 5 月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 32 景観資源の状況（瀬嵩区のフクギ、モクマオウ、ホルトノキ）

資源調査地点		7
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 4.0%。
	力量性※1	樹高：フクギ 17.0m、モクマオウ 12.5m、ホルトノキ 13.0m
固有価値	固有性※2	2本のフクギが並んで生育している。 モクマオウとホルトノキは現在は無い。
	歴史性※3	フクギが生育している場所は元々拝所であり、神木化されていた（現在、拝所は海側へ移動されている）。
	郷土性※4	
	親近性※5	県道 70 号線（現在の国道 331 号）開設の際に拝所が海側へ移動された後は、日差しを避ける休憩所として親しまれていた ^{注)} 。
 <p>瀬嵩区公民館から撮影 H20/7/29/11:58</p>		


注)「名護市の名木」(昭和 59 年 3 月、名護市教育委員会)

表-6. 20. 1. 33 景観資源の状況（大浦御嶽のイタジイ林）

資源調査地点		10、13、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率7.7%。
	力量性※1	面積0.5ha
固有価値	固有性※2	一帯は粘板岩及び国頭礫層上にリュウキュウマツ林が広く発達し、中央山地のシイ林に連続している。海岸に近いが、山地型植生のシイ林が発達し、その構成種によって多く占有されている ^{注)} 。
	歴史性※3	大浦集落の御嶽林で、拝殿の周辺には樹高12～13mの高木が見られる ^{注)} 。
	郷土性※4	
	親近性※5	集落近くの身近な御嶽林として親しまれている。
 <p>大浦川河口から撮影 H20/7/29/10:05</p>		 <p>二見海岸から撮影 H20/7/30/11:35</p>


注)「沖縄大百科事典」(昭和58年5月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 34 景観資源の状況（大浦のアサギ庭のガジマル）

資源調査地点		9
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率2.6%。
	力量性※1	樹高15.5m、胸高直径94cm
固有価値	固有性※2	幹は全体的に東に傾いている。南東に2m隔てて垂下した気根が大径木のフクギを絞めつけ、もとの幹とほぼ同じ太さに発達し5m高で連結している。幹は2m高で2分岐し、そのうち1つが上部樹幹を形成している。垂下気根はわずかで、多くの気根は幹や枝に巻きついている ^{注)} 。名護市の天然記念物に指定されている。
	歴史性※3	推定樹齢は110年に及び、地域の歴史を伝える要素となっていると考えられる。
	郷土性※4	大浦集落センター前広場に生育しており、地域のシンボルとして親しまれている。
	親近性※5	
 <p>大浦集落センターから撮影 H20/7/29/10:33</p>		


注)「名護市の名木」(昭和59年3月、名護市教育委員会)

表-6. 20. 1. 35 景観資源の状況（大浦のマングローブ林）

資源調査地点		11
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 15.5%。
	力量性※1	面積 11.2ha
固有価値	固有性※2	構成種はメヒルギとオヒルギの2種が主である。林縁部や河口の最前縁、林内の河道沿いではメヒルギが優占し、中央部では次第にオヒルギが優占している。 ^{注)}
	歴史性※3	面積、保存状況の点で、沖縄本島では有数のマングローブ林 ^{注)} とされており、大浦川河口の古くからの姿を伝える要素でもありとされる。名護市の天然記念物に指定されている。
	郷土性※4	大浦区集落の主要幹線道路である県道 18 号線沿いにあり、地域のシンボルとなっていると考えられる。
	親近性※5	大浦区集落の主要幹線道路である県道 18 号線沿いにあり、地域のシンボルとなっていると考えられる。
 <p>大浦のマングローブ林から撮影 H20/7/29/10:16</p>		

注)「沖縄大百科事典」(昭和 58 年 5 月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 36 景観資源の状況（久志公民館のガジマル）

資源調査地点		23
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 2.8%。
	力量性※1	樹高 8.0m、胸高直径 125cm
固有価値	固有性※2	幹は西に 40° 程度傾き、2m 高でやや上向する。0.5m 高で北にやや水平に伸びる枝を分岐、主幹は 1.5m 高で 3 分岐、全体が北西に斜上向する ^{注)} 。
	歴史性※3	推定樹齢は 140 年に及び地域の歴史を伝える要素となっていると考えられる。
	郷土性※4	久志公民館前広場に生育しており、地域のシンボルとして親しまれていると考えられる。
	親近性※5	
 <p>久志公民館から撮影 H20/8/2/10:24</p>		

注)「名護市の名木」(昭和 59 年 3 月、名護市教育委員会)